



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 正一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 (TEL) 03(3231)6811  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	44,841	—	3,494	—	3,666	—	2,331	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	82 37	—
26年12月期第3四半期	—	—

※当社は、平成26年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これに伴い、平成26年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期の経営成績(累計)及び平成27年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	98,200	81,514	83.0
26年12月期	92,550	80,225	86.7

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期81,514百万円 26年12月期 80,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	20 00	—	20 00	40 00
27年12月期	—	24 00	—		
27年12月期(予想)				24 00	48 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,300	—	4,000	—	4,200	—	2,600	—	91 87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2015年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期3Q	28,800,000株	26年12月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	27年12月期3Q	500,528株	26年12月期	500,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期3Q	28,299,737株	26年12月期3Q	—

※当社は、平成26年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しております。これに伴い、平成26年12月期第3四半期財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 訴訟の提起

業績予想については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績	2
(2) 財政状態	2
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想などの将来予測情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績

当第3四半期累計期間の経営成績につきましては、以下のとおりであります。

なお、前事業年度(平成26年12月期)は決算期変更により、平成26年4月1日から平成26年12月31日までの9ヶ月間となっておりますので、参考として、前年同一期間(平成26年1月1日から平成26年9月30日までの9ヶ月間)との比較を記載しております。

	(参考) 前年同一期間 平成26年1月～9月	平成27年12月期 第3四半期累計期間	増減額	増減率
売上高(百万円)	41,441	44,841	3,399	8.2%
営業利益(百万円)	3,320	3,494	174	5.2%
経常利益(百万円)	3,407	3,666	259	7.6%
四半期純利益(百万円)	2,215	2,331	115	5.2%

※平成26年1月1日から平成26年9月30日までの9ヶ月間の数値は、次のとおり算出しております。

平成26年1月～3月(平成26年3月期事業年度(12ヶ月間)－平成26年3月期第3四半期累計期間(9ヶ月間))

+平成26年4月～9月(平成26年12月期第2四半期累計期間(6ヶ月間))

売上高は、44,841百万円と前年同一期間に比べ3,399百万円(8.2%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、平成26年5月から販売しております「リオナ錠(高リン血症治療剤)」が3,506百万円と前年同一期間に比べ2,609百万円(291.0%)増加したほか、「スタリビルド配合錠(抗HIV薬)」は2,202百万円と前年同一期間に比べ529百万円(31.6%)、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は11,209百万円と前年同一期間に比べ505百万円(4.7%)とそれぞれ増加しました。なお、平成26年10月から販売しております「シダトレン スギ花粉舌下液(減感作療法(アレルギー免疫療法)薬)」については283百万円となりました。

費用面におきましては、売上原価は売上高が増加したことに加え、「シダトレン スギ花粉舌下液」の使用期限切迫品の廃棄損を計上したこと等により22,104百万円と前年同一期間に比べ2,860百万円(14.9%)増加し、販売費及び一般管理費は19,242百万円と前年同一期間に比べ365百万円(1.9%)増加しました。

以上の結果、営業利益は3,494百万円と前年同一期間に比べ174百万円(5.2%)増加し、経常利益は3,666百万円と前年同一期間に比べ259百万円(7.6%)増加しました。四半期純利益につきましては、2,331百万円と前年同一期間に比べ115百万円(5.2%)増加しました。

## (2) 財政状態

当第3四半期会計期間末の総資産は、98,200百万円と前事業年度末に比べ5,649百万円(6.1%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が10,014百万円減少しましたが、有価証券が8,302百万円、現金及び預金が5,796百万円、開発マイルストーンの計上等により投資その他の資産に含まれる長期前払費用が1,446百万円増加したこと等によるものです。

負債につきましては、16,685百万円と前事業年度末に比べ4,360百万円(35.4%)増加しました。これは、流動負債のその他に含まれる未払金が主に開発マイルストーンが未払いであることにより2,286百万円、買掛金が1,254百万円、未払法人税等が825百万円増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、81,514百万円と前事業年度末に比べ1,289百万円(1.6%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,085百万円増加したことによるものです。

## (3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は3,667百万円であります。

ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対する減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「ミティキュア ダニ舌下錠」(開発番号:T0-203)について、本年9月28日に日本国内において製造販売承認を取得いたしました。本剤については、治療ニーズの高い小児(5~11歳)適応に係る国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

また、本年8月、スギ花粉症に対する減感作療法(アレルギー免疫療法)薬「T0-206」(舌下錠)の国内第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験の速報結果を得ました。今回得られた速報結果では、有効性の主要評価項目である「総合鼻症状薬物スコア」が、T0-206投与群においてプラセボ投与群に比べ統計学的に有意に低下し、T0-206の舌下投与によるスギ花粉症症状の軽減が確認され、安全性及び忍容性に関しても特に問題は認められませんでした。この結果を受け、日本国内における製造販売承認申請の準備を行っております。

現時点における主な研究開発の状況につきましては、「2015年12月期第3四半期決算 参考資料」に記載しております。

## (4) 業績予想などの将来予測情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成27年7月29日「平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」)の当該予想数値を以下のとおり修正しております。

	平成27年12月期 前回予想	平成27年12月期 修正予想	対前回予想 増減額	対前回予想 増減率	(参考) 前年同一期間 平成26年1月~12月
売上高(百万円)	62,200	61,300	△900	△1.4%	58,089
営業利益(百万円)	4,300	4,000	△300	△7.0%	5,033
経常利益(百万円)	4,400	4,200	△200	△4.5%	5,168
当期純利益(百万円)	2,800	2,600	△200	△7.1%	3,394

売上高につきましては、「シダトレン スギ花粉舌下液」の販売状況が計画を下回って推移していること等から、前回発表予想を下回る見込みとなりました。また、利益面につきましては、販売費及び一般管理費が計画より減少する見込みであるものの、売上原価に「シダトレン スギ花粉舌下液」の使用期限切迫品の廃棄損を計上したこと等により、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を下回る見通しとなりました。

なお、当期の配当金につきましては、1株当たり年間48円(中間配当金24円、期末配当金24円)を予定しており、前回発表予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,316	12,112
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	14,978	4,963
受取手形及び売掛金	25,901	25,399
有価証券	13,209	21,511
商品及び製品	6,630	7,411
仕掛品	594	399
原材料及び貯蔵品	2,911	3,154
その他	1,579	1,877
流動資産合計	72,121	76,831
固定資産		
有形固定資産	5,806	5,750
無形固定資産	818	886
投資その他の資産	13,803	14,731
固定資産合計	20,428	21,368
資産合計	92,550	98,200
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,095	7,349
未払法人税等	273	1,098
賞与引当金	694	1,329
役員賞与引当金	48	38
返品調整引当金	1	1
その他	4,279	5,993
流動負債合計	11,391	15,810
固定負債		
退職給付引当金	173	327
その他	759	547
固定負債合計	933	874
負債合計	12,324	16,685
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	69,102	70,188
自己株式	△861	△862
株主資本合計	79,847	80,931
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	377	583
評価・換算差額等合計	377	583
純資産合計	80,225	81,514
負債純資産合計	92,550	98,200

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)
売上高	44,841
売上原価	22,104
売上総利益	22,737
販売費及び一般管理費	
販売促進費	3,606
給料及び手当	4,316
賞与引当金繰入額	1,149
研究開発費	3,667
その他	6,502
販売費及び一般管理費合計	19,242
営業利益	3,494
営業外収益	
受取利息	64
受取配当金	9
為替差益	58
その他	41
営業外収益合計	174
営業外費用	
支払利息	0
その他	2
営業外費用合計	2
経常利益	3,666
特別損失	
固定資産除却損	42
減損損失	50
特別損失合計	93
税引前四半期純利益	3,573
法人税等	1,242
四半期純利益	2,331

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

# 2015年12月期 第3四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2015年12月期 第3四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 設備投資の状況	P.6
⑤ 非資金項目	P.6
⑥ 研究開発の状況	P.6
III 2015年12月期 業績予想	P.7
① 損益計算書	P.7
② 製商品別売上高	P.9
③ 設備投資の状況	P.10
④ 非資金項目	P.10
⑤ 配当	P.10
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2015年10月30日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

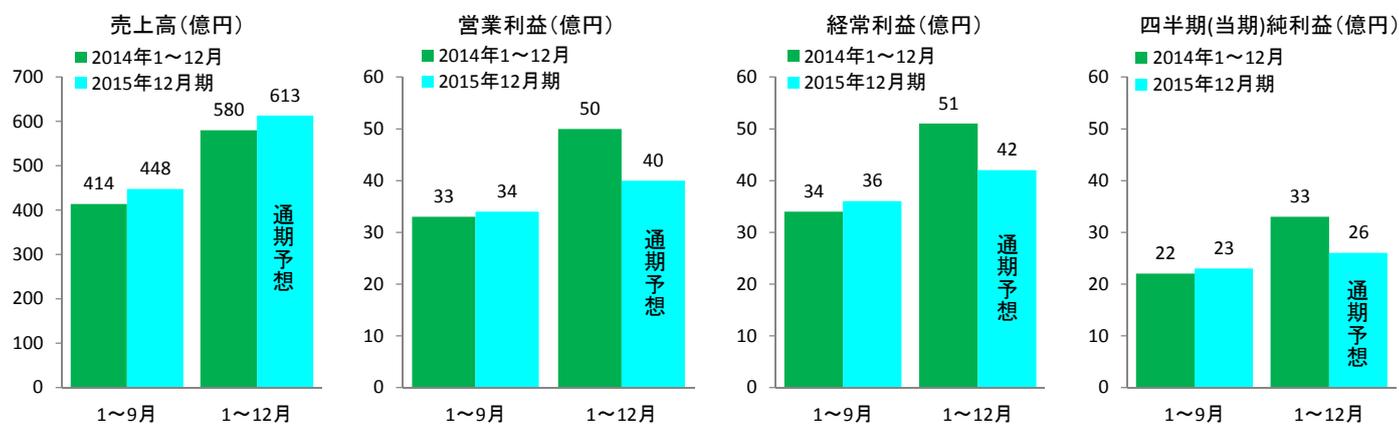
## ① 経営成績

(単位:百万円)	2014年 1~9月 A	2015年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2014年 1~12月	2015年12月期 修正予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	41,441	44,841	3,399	8.2	58,089	61,300	73.2
営業利益	3,320	3,494	174	5.2	5,033	4,000	87.4
経常利益	3,407	3,666	259	7.6	5,168	4,200	87.3
四半期(当期)純利益	2,215	2,331	115	5.2	3,394	2,600	89.7

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年9月30日までの9ヶ月間の数値（計算方法はP.2を参照）を記載しております。また、2015年12月期修正予想との比較として2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月間の数値（計算方法はP.7を参照）を記載しております。

(参考)

研究開発費		3,732	3,667	△65	△1.7	4,878	5,260	69.7
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS)	(円)	78.30	82.37	4.07		119.94	91.87	
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	(%)	2.8	2.9	0.1		4.3	-	
総資産経常利益率	(%)	3.7	3.8	0.1		5.6	-	
売上高営業利益率	(%)	8.0	7.8	△0.2		8.7	-	
総資産四半期(当期)純利益率(ROA)	(%)	2.4	2.4	0.0		3.7	-	



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2014年12月期 A	2015年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	92,550	98,200	5,649	6.1
純資産	80,225	81,514	1,289	1.6
自己資本比率	(%)	86.7	83.0	△3.7
1株当たり純資産(BPS)	(円)	2,834.82	2,880.44	45.62

## Ⅱ 2015年12月期 第3四半期実績

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しておりますので、当期実績の比較として「2014年1～9月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

### ① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2014年	2015年12月期	増減額	増減率 (%)
	1～9月	第3四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	41,441	44,841	3,399	8.2
製商品売上高	41,272	44,665	3,392	8.2
腎・透析領域	17,136	19,752	2,615	15.3
皮膚・アレルギー領域	8,683	8,657	△25	△0.3
HIV領域	10,959	11,727	767	7.0
その他	4,492	4,527	34	0.8
不動産賃貸収入	168	175	7	4.3
売上原価	19,243	22,104	2,860	14.9
製商品売上原価	19,200	22,063	2,863	14.9
不動産賃貸原価	43	40	△2	△6.8
売上総利益	22,197	22,737	539	2.4
販売費及び一般管理費	18,877	19,242	365	1.9
販管費（研究開発費除く）	15,144	15,574	430	2.8
研究開発費	3,732	3,667	△65	△1.7
営業利益	3,320	3,494	174	5.2
営業外収益	91	174	82	—
営業外費用	5	2	△2	—
経常利益	3,407	3,666	259	7.6
特別利益	15	—	△15	—
特別損失	363	93	△270	—
税引前四半期純利益	3,059	3,573	513	16.8
法人税等	843	1,242	398	—
四半期純利益	2,215	2,331	115	5.2

(参考) 売上高に対する比率

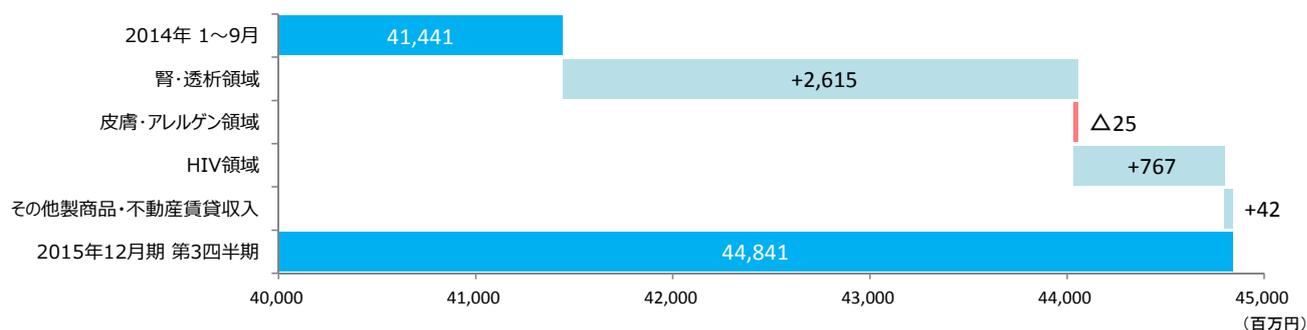
(単位:%)	2014年	2015年12月期	増減
	1～9月	第3四半期	
	A	B	B-A
売上原価	46.4	49.3	2.9
販売費及び一般管理費	45.6	42.9	△2.7
研究開発費	9.0	8.2	△0.8
営業利益	8.0	7.8	△0.2
経常利益	8.2	8.2	0.0
四半期純利益	5.3	5.2	△0.1

<2014年1～9月数値の計算方法>

2014年1～3月（2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
+2014年4～9月（2014年12月期第2四半期実績（6ヶ月））

【対前年同一期間増減要因】

売上高 (44,841百万円 対前年同一期間 +3,399百万円)

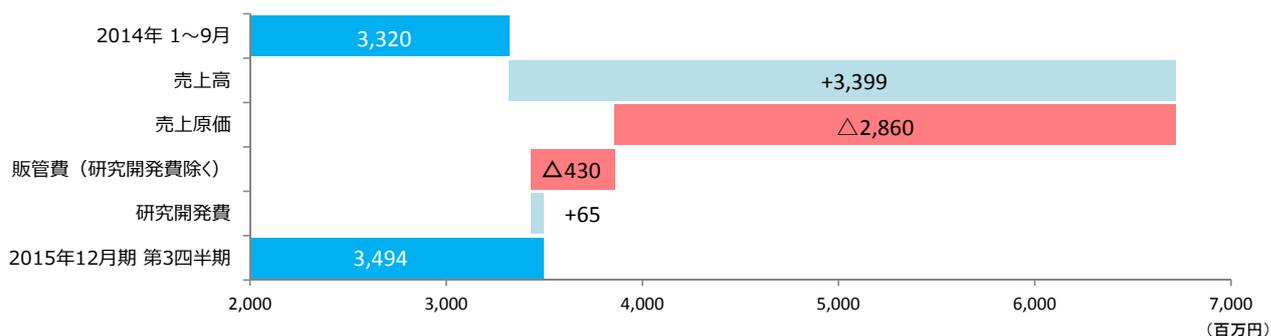


主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠	+2,609百万円	、レミツカプセル	+505百万円
	注射用フサン	△288百万円	、ユリノーム錠	△231百万円
皮膚・アレルギー領域	：ドボネックス軟膏	△328百万円	、シダトレン スギ花粉舌下液	+283百万円
HIV領域	：スタリビルド配合錠	+529百万円	、ツルバダ配合錠	+308百万円

※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照

営業利益 (3,494百万円 対前年同一期間 +174百万円)



主な増減要因

売上原価	：売上高の増加、「シダトレン スギ花粉舌下液」の使用期限切迫品の廃棄損計上、販売品目の構成変化
販管費 (研究開発費除く)	：人件費の増加

経常利益 (3,666百万円 対前年同一期間 +259百万円)

特記事項：特になし

四半期純利益 (2,331百万円 対前年同一期間 +115百万円)

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年 1~9月 A	2015年12月期 第3四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	41,272	44,665	3,392	8.2
レミッチカプセル	10,704	11,209	505	4.7
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	9,026	9,334	308	3.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	4,976	5,029	52	1.1
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
リオナ錠 ※2	896	3,506	2,609	291.0
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	1,673	2,202	529	31.6
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
注射用フサン ※1	2,479	2,190	△288	△11.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
ケイキサレート ※1	1,638	1,659	20	1.2
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	1,525	1,641	116	7.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	1,416	1,185	△231	△16.3
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	994	1,054	60	6.0
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,130	1,054	△75	△6.7
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ドボネックス軟膏	1,272	944	△328	△25.8
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	823	830	6	0.8
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品 ※3	2,712	2,821	109	4.0

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 2014年10月から販売しております「シダトレン スギ花粉舌下液」は、283百万円の売上となりました。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年 1~9月 A	2015年12月期 第3四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	12,871	12,750	△120	△0.9
自社品比率 (%)	31.2	28.5	△2.7	-

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2014年12月期	2015年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第3四半期 B			
流動資産	72,121	76,831	4,709	6.5	78.2
現金及び預金	6,316	12,112	5,796		
キャッシュ・マネジメント・システム預託金	14,978	4,963	△10,014		
受取手形及び売掛金	25,901	25,399	△502		
有価証券	13,209	21,511	8,302		
たな卸資産	10,136	10,965	828		
その他	1,579	1,877	298		
固定資産	20,428	21,368	940	4.6	21.8
有形固定資産	5,806	5,750	△55		
無形固定資産	818	886	68		
投資その他の資産	13,803	14,731	927		
投資有価証券	7,070	6,629	△440		
長期前払費用	5,230	6,677	1,446		
その他	1,502	1,424	△78		
資産合計	92,550	98,200	5,649	6.1	100.0
流動負債	11,391	15,810	4,418	38.8	16.1
買掛金	6,095	7,349	1,254		
未払金	1,795	4,081	2,286		
未払法人税等	273	1,098	825		
賞与引当金	694	1,329	635		
その他	2,534	1,951	△582		
固定負債	933	874	△58	△6.3	0.9
負債合計	12,324	16,685	4,360	35.4	17.0
株主資本	79,847	80,931	1,084	1.4	82.4
評価・換算差額等	377	583	205	54.3	0.6
純資産合計	80,225	81,514	1,289	1.6	83.0
負債純資産合計	92,550	98,200	5,649	6.1	100.0

主な増減要因

(流動資産)

有価証券 : 金銭信託及びコマーシャル・ペーパーの取得による増加

たな卸資産 : 商品の増加

(固定資産)

長期前払費用 : 開発マイルストーンの計上による増加、販売権の償却による減少

(流動負債)

買掛金 : 商品仕入の増加による増加

未払金 : 開発マイルストーンの計上による増加

(純資産)

株主資本 : 四半期純利益による増加、配当金の支払による減少

#### ④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年	2015年12月期	増減額	増減率 (%)
	1~9月 A	第3四半期 B		
設備投資額	1,494	1,198	△296	△19.8
有形固定資産	1,215	930	△284	△23.4
無形固定資産	279	267	△11	△4.3

#### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：アレルギー領域に係る製造設備及び生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

#### ⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年	2015年12月期	増減額	増減率 (%)
	1~9月 A	第3四半期 B		
減価償却費	866	1,062	195	22.6
長期前払費用償却費	687	627	△60	△8.8

#### ⑥ 研究開発の状況

開発番号 「製品名」	予定適応症等	剤形等	開発段階（国内）					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>皮膚・アレルギー領域</b>								
TO-203 「ミティキュア ダニ舌下錠」	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠					承認	・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発 ・2015年9月28日に製造販売承認取得
	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠		Phase II / III				・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
	室内塵ダニアレルギー疾患 (小児アレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠			Phase III			・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結 ・自社開発
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠				申請 準備中		・自社開発
JTE-350 「アレルギースクラッチ エキソ陽性対照液「トリイ」 ヒスタミン二塩酸塩」	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤					承認	・ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結 ・日本たばこ産業(株)との共同開発 ・日本たばこ産業(株)が2015年9月28日に製造販売承認取得

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時（2015年7月29日）からの変更点

- ・TO-203（アレルギー性鼻炎）「ミティキュア ダニ舌下錠」の国内製造販売承認取得
- ・TO-203（小児アレルギー性鼻炎）の国内PhaseⅢの開始
- ・TO-206の国内製造販売承認申請準備中
- ・日本たばこ産業(株)によるJTE-350「アレルギースクラッチエキソ陽性対照液「トリイ」ヒスタミン二塩酸塩」の国内製造販売承認取得

### Ⅲ 2015年12月期 業績予想

※平成27年7月29日「平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」で発表しております通期の業績予想数値（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益）を修正しております。

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しておりますので、2015年12月期 業績予想の比較として「2014年1～12月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2015年12月期	2015年12月期	修正額	2014年	増減額	増減率 (%) (B-C)/C
	前回予想 A	修正予想 B		1～12月 C		
売上高	62,200	61,300	△900	58,089	3,210	5.5
製商品売上高	61,990	61,060	△930	57,864	3,195	5.5
腎・透析領域	27,520	27,520	-	24,437	3,082	12.6
皮膚・アレルギー領域	12,230	11,430	△800	11,687	△257	△2.2
HIV領域	15,840	15,840	-	15,527	312	2.0
その他	6,400	6,270	△130	6,210	59	1.0
不動産賃貸収入	210	240	30	225	14	6.3
売上原価	30,500	30,400	△100	27,396	3,003	11.0
売上総利益	31,700	30,900	△800	30,693	206	0.7
販売費及び一般管理費	27,400	26,900	△500	25,659	1,240	4.8
販管費（研究開発費除く）	21,970	21,640	△330	20,780	859	4.1
研究開発費	5,430	5,260	△170	4,878	381	7.8
営業利益	4,300	4,000	△300	5,033	△1,033	△20.5
経常利益	4,400	4,200	△200	5,168	△968	△18.7
当期純利益	2,800	2,600	△200	3,394	△794	△23.4

(参考) 売上高に対する比率

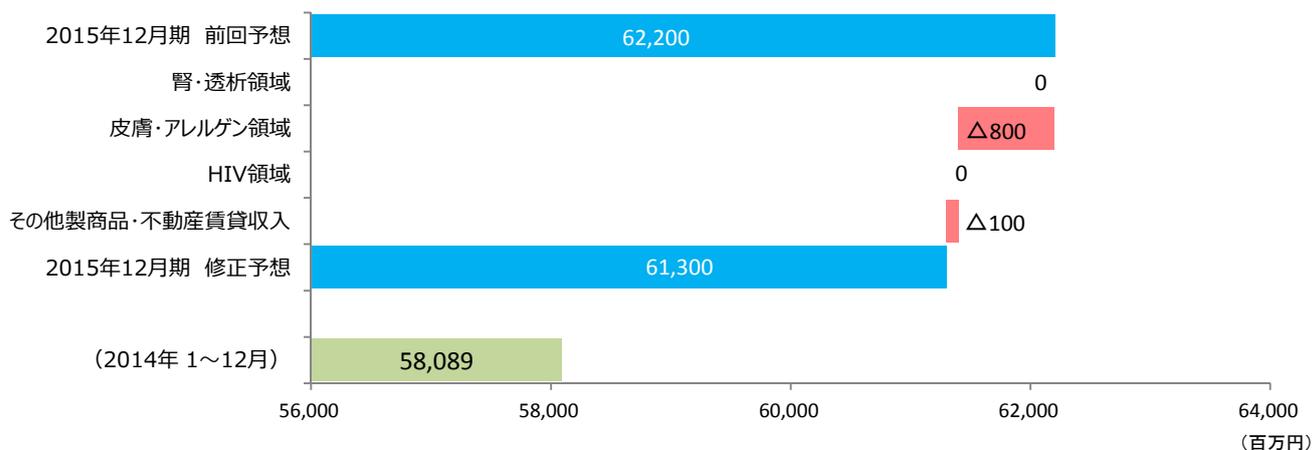
(単位:%)	2015年12月期	2015年12月期	増減	2014年	増減
	前回予想 A	修正予想 B		1～12月 C	
売上原価	49.0	49.6	0.6	47.2	2.4
販売費及び一般管理費	44.1	43.9	△0.2	44.1	△0.2
研究開発費	8.7	8.6	△0.1	8.4	0.2
営業利益	6.9	6.5	△0.4	8.7	△2.2
経常利益	7.1	6.9	△0.2	8.9	△2.0
当期純利益	4.5	4.2	△0.3	5.8	△1.6

#### <2014年1～12月数値の計算方法>

2014年1～3月（2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
+ 2014年4～12月（2014年12月期実績）

**【2015年12月期 対前回予想増減要因】**

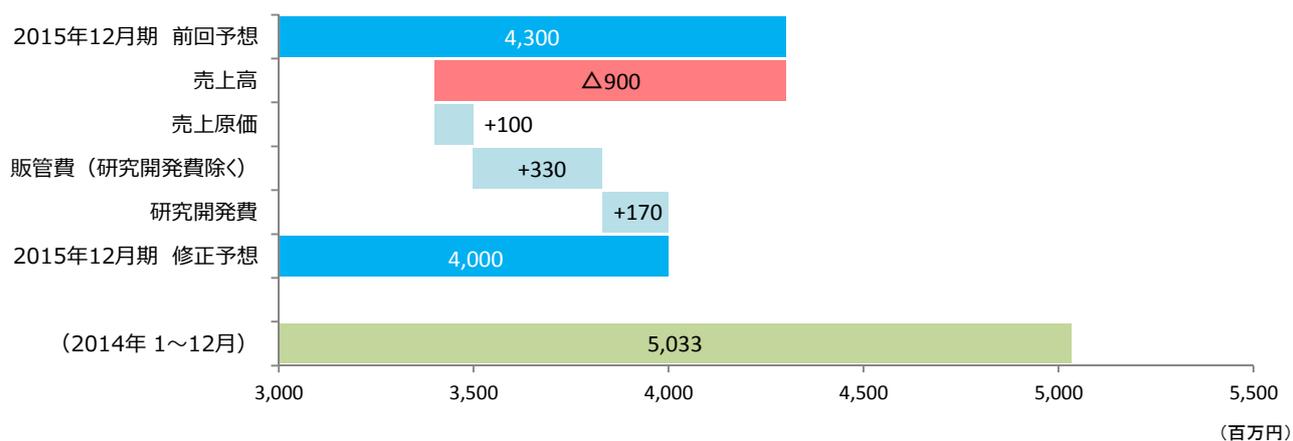
**売上高（61,300百万円 対前回予想△900百万円）**



**主な増減要因**

皮膚・アレルギー領域 : シダトレン スギ花粉舌下液 △800百万円  
 ※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照

**営業利益（4,000百万円 対前回予想△300百万円）**



**主な増減要因**

売上原価 : 売上高の減少、「シダトレン スギ花粉舌下液」の使用期限切迫品の廃棄損計上

**経常利益（4,200百万円 対前回予想△200百万円）**

特記事項：特になし

**当期純利益（2,600百万円 対前回予想△200百万円）**

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2015年12月期 前回予想 A	2015年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2014年 1~12月 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
製商品売上高	61,990	61,060	△930	57,864	3,195	5.5
レミッチカプセル	15,660	15,660	-	14,970	689	4.6
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]						
ツルバダ配合錠	12,650	12,650	-	12,717	△67	△0.5
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]						
アンテベート ※1	6,790	6,790	-	6,747	42	0.6
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]						
リオナ錠 ※2	4,800	4,800	-	1,811	2,988	164.9
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]						
注射用フサン ※1	3,130	3,130	-	3,499	△369	△10.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]						
スタビルド配合錠	2,920	2,920	-	2,466	453	18.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]						
ビオスリー	2,390	2,390	-	2,123	266	12.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]						
ケイキサレート ※1	2,360	2,360	-	2,253	106	4.7
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]						
ユリノーム錠 ※1	1,570	1,570	-	1,901	△331	△17.4
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]						
ロコイド ※1	1,400	1,400	-	1,337	62	4.7
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]						
ゼフナート	1,220	1,220	-	1,450	△230	△15.9
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]						
ドボネックス軟膏	1,200	1,200	-	1,670	△470	△28.1
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]						
マグセント	1,100	1,100	-	1,192	△92	△7.8
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]						
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1,3	1,240	440	△800	80	359	446.7
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [皮膚・アレルギー領域]						
その他製商品	3,560	3,430	△130	3,641	△211	△5.8

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 「シダトレン スギ花粉舌下液」は、2014年10月から販売しております。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2015年12月期 前回予想 A	2015年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2014年 1~12月 C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
自社品売上高	18,300	17,520	△780	17,657	△137	△0.8
自社品比率 (%)	29.5	28.7	△0.8	30.5	△1.8	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2015年12月期 前回予想 A	2015年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2014年 1~12月 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
設備投資額	2,487	2,331	△156	1,726	604	35.0
有形固定資産	2,066	1,845	△221	1,286	558	43.4
無形固定資産	421	486	65	440	45	10.4

#### 設備投資の内容

有形固定資産：アレルギー領域に係る製造設備及び生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2015年12月期 前回予想 A	2015年12月期 修正予想 B	修正額 B-A	2014年 1~12月 C	増減額 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
減価償却費	1,405	1,454	49	1,218	235	19.4
長期前払費用償却費	820	836	16	918	△82	△9.0

### ⑤ 配当

	2015年12月期 前回予想 A	2015年12月期 修正予想 B	修正額(率) B-A	2014年12月期 通期(4~12月) C	増減 B-C	増減率 (%) (B-C)/C
1株当たり配当金 (円)	48	48	0	40	8	20.0
配当性向 (%)	48.5	52.2	3.7	46.8	5.4	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起